

防災安全部

(1) 防災安全部予算のポイント

◆予算編成にあたっての背景・課題

- 2019年度は8月に発生した令和元年8月九州豪雨災害をはじめ、台風第15号や台風第19号などの風水害により全国的に大きな被害がもたらされました。町田市においても、台風第19号の影響により市内的一部で土砂崩れが発生し、災害救助法の適用対象となりました。市としては、これらの災害対応を検証し、今後の防災対策を推進していく必要があります。
- 2019年に発生した台風第15号、台風第19号等の風水害対応を検証した内容の反映や、東京都が2020年度上半期に公表を予定している、東京都地域防災計画(風水害編等)の修正内容との整合性を図ることなどを踏まえ、町田市地域防災計画の第4章以降を修正する必要があります。
- 地震や台風等により、市内で災害が発生した場合には、自助・共助・公助の連携による復旧・復興のため、地域防災を担う消防団や、自主防災組織の活躍が重要になります。こうした状況の中、市は地域防災力の中核を担う消防団の装備強化、組織力の充実を図るとともに、自主防災組織のリーダー育成支援を行い、地域における防災体制を引き続き強化していく必要があります。
- 警察によると、町田市における刑法犯認知件数は、2019年には2,679件(速報値)で、2018年と比べて236件減少しています。また、町田市における振り込め詐欺等の特殊詐欺被害件数は、2019年には113件(速報値)で、2018年と比べて38件減少しています。
「安心して生活できるまち」を実現するため、地域の防犯力を強め、市民の安心感を高める取組を推進していく必要があります。
- 警察によると、町田市における交通事故件数は、2019年には855件(速報値)となりました。2018年と比べて4件増加しましたが、ピークだった2000年の3,254件と比較すると、約4分の1に減少しています。一方、交通死亡事故は4件で、2018年から1件増加しました。市民が、交通事故の加害者や被害者となることが無くなることを目指して、交通ルールやマナーの遵守等、交通安全意識の一層の普及に努める必要があります。

◆予算編成の考え方

- 「町田市5ヵ年計画17-21」基本政策「安全に生活できるまちをつくる」に基づくもの
 - (1) 自主防災リーダーのフォローアップ講習会を実施し、地域の自主的な防災活動の更なる充実を図ります。
 - (2) 市民生活の安全を守るとともに迷惑行為の防止を図るため、協働パトロール等の防犯対策を推進します。
- その他個別計画等に基づくもの
 - (1) 災害に強いまちづくりを推進するため、防災行政無線や消防施設の整備を行います。
なお、老朽化が進んでいる消防施設や消防車両については、建替えや更新を行います。
 - (2) 安全・安心なまちづくりを推進するため、防犯カメラ設置に対する補助や民間交番を運営します。
 - (3) 市民の交通安全意識の高揚と交通事故の減少を図るため、警察等と協力し、自転車教室をはじめとする各種交通安全教室や、街頭や地域イベント等にて交通安全意識普及活動を実施します。

◆予算編成で重視した取組

1 町田市5ヵ年計画17-21 重点事業

- (1) 「地域の防災リーダーの育成」のために、自主防災組織リーダーフォローアップ講習会を実施します。（災害対策費 防災課 173ページ）
(2) 「防犯対策の推進」のために、協働パトロール事業を推進します。
（安全対策費 市民生活安全課 170ページ）

2 町田市地域防災計画の修正

台風第15号、台風第19号等の風水害対応の検証した内容の反映や、東京都が2020年度上半期に公表予定である、東京都地域防災計画(風水害編等)の修正内容と整合性を図る必要があることなどから、町田市地域防災計画の第4章以降の修正をします。

（災害対策費 防災課 173ページ）

3 消防団の装備強化への対応

- (1) 消防団被服などの装備品を購入します。
（消防団運営費 防災課 172ページ）
(2) 消防器具置場(5-4-1)の整備に向けた敷地測量を実施します。
（消防施設費 防災課 172ページ）
(3) 消防車両の更新分として、消防ポンプ車を2台購入します。
（消防施設費 防災課 172ページ）

4 地域における防犯カメラ等の設置支援

町内会・自治会等が設置する防犯カメラについて、設置費用の一部補助を行います。
（安全対策費 市民生活安全課 170ページ）

5 民間交番の運営

まちの見守りや防犯パトロール等の防犯活動の拠点として運用します。また、来街者に対する道案内や観光案内を行います。
（安全対策費 市民生活安全課 170ページ）

(2) 2020年度 防災安全部予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項	目	2020年度	2019年度	比較	事業名
2 総務費						
1 総務管理費						
	19 安全対策費	30,067	42,338	△ 12,271	安全対策費	
3 民生費						
5 災害救助費						
	1 災害救助費	320	180	140	災害救助費	
9 消防費						
1 消防費						
	1 防災対策費	4,845,328	4,960,461	△ 115,133	消防団運営費 消防施設費 災害対策費 常備消防費	
合 計		4,875,715	5,002,979	△ 127,264		

※職員人件費は除いています。

防災安全部予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2020年度	4,875,715	0	1,512,318	295,000	100	3,068,297
2019年度	5,002,979	0	1,415,674	349,000	151	3,238,154
比 較	△ 127,264	0	96,644	△ 54,000	△ 51	△ 169,857

(3) 事業別支出科目一覧

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
2	1	19	安全対策費		30,067
			02 安全対策費	市民生活安全課	30,067
			交通安全推進協議会委員報酬		336
			委員謝礼		323
			講師謝礼		50
			普通旅費		46
			消耗品費		2,202
			印刷製本費		201
			事業・業務委託料		12,833
			研修・講座等委託料		2,384
			町田市交通安全協会補助金		6,851
			特別会員交通災害共済費負担金		91
			防犯協会補助金		887
			防犯設備整備費補助金		3,863
3	5	1	災害救助費		320
			01 災害救助費	防災課	320
			罹災者見舞金		320
9	1	1	防災対策費		4,845,328
			02 消防団運営費	防災課	132,907
			団員報酬		65,147
			事業協力謝礼		5,194
			特別旅費		1,356
			費用弁償		12,855
			交際費		170
			消耗品費		17,580
			食糧費		30
			印刷製本費		219
			証明手数料		3
			賠償責任等保険料		24
			システム導入委託料		2,200
			警備委託料		31
			収集・処分等委託料		410
			設営委託料		500
			健康診査等委託料		99
			自動車借上料		240
			システム使用料		528
			有料道路通行料		13
			研修負担金		141
			協議会等負担金		566
			特別会員交通災害共済費負担金		210
			消防団員福祉共済負担金		1,800
			消防団研修負担金		646
			消防団交付金		5,992
			損害補償・退職報償負担金		16,953
			03 消防施設費	防災課	197,128
			消耗品費		1,975
			燃料費		1,046
			光熱水費		3,599
			施設修繕料		1,722

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
			備品修繕料		5,947
			リサイクル手数料		26
			自動車保険料		847
			事業・業務委託料		385
			機器等保守点検委託料		27
			測量委託料		1,265
			剪定・除草委託料		2,044
			用地借上料		2,121
			自動体外式除細動器借上料		519
			撤去工事費		4,400
			備品等購入費		248
			車両購入費		38,800
			研修負担金		75
			消火栓維持管理負担金		6,566
			消火栓設置負担金		124,459
			廃棄物処分負担金		18
			自動車重量税		1,039
	04 災害対策費		防災課		289,918
			防災会議委員報酬		484
			事業協力謝礼		898
			普通旅費		215
			特別旅費		61
			消耗品費		3,901
			災害時用備蓄資材・食糧等購入費		51,735
			燃料費		210
			印刷製本費		1,426
			光熱水費		1,900
			施設修繕料		201
			備品修繕料		3,126
			賄材料費		15
			電話料		3,861
			インターネット通信費		240
			専用回線等通信費		1,789
			自動車保険料		82
			傷害保険料		45
			事業・業務委託料		4,488
			事務処理等委託料		266
			計画策定委託料		2,592
			研修・講座等委託料		1,180
			指導委託料		1,711
			機器等保守点検委託料		19,766
			工事監理委託料		8,422
			警備委託料		88
			調査等委託料		813
			作成委託料		2,749
			設営委託料		3,643
			検査委託料		921
			剪定・除草委託料		625
			システム使用料		4
			整備工事費		145,000

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
			設置工事費		9,946
			備品等購入費		1,456
			研修負担金		61
			自主防災組織補助金		15,469
			町田防火防災協会補助金		200
			防災行政無線電波利用負担金		297
			自動車重量税		32
	05	常備消防費		防災課	4,225,375
		常備消防都委託料			4,225,375

(4) 事業の説明

一般会計

款 2 項 1 目 19 安全対策費

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2020年度	30,067	0	2,318	0	0	27,749
2019年度	42,338	0	9,566	0	0	32,772
2 安全対策費						30,067 千円
担当 市民生活安全課						予算書 82 ページ
財源内訳		国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
		0	2,318	0	0	27,749

○事業の内容

- ・市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、官民協働パトロール等による啓発活動や、地域団体の防犯活動の支援等を行います。
- ・交通事故防止に向けて、市民への交通安全教育や交通安全啓発活動等を行います。

○2020年度の取り組み

- ・町内会・自治会等が設置する防犯カメラについて、設置費用の一部補助を行います。
- ・まちの見守りや、防犯活動の拠点として、民間交番を運営します。
- ・交通ルールやマナーの普及を目指して、対象者に合わせた各種交通安全教室を行います。
- ・啓発機会が少なかった地域のイベントに参加し、交通安全啓発活動を実施します。

主な事業費	事業・業務委託料(民間交番運営業務委託)	12,833千円
	防犯設備整備費補助金(防犯カメラ設置補助金)	3,863千円
	研修・講座等委託料	2,384千円
	(中学校自転車教室業務委託)	1,650千円)
	(高齢運転者等安全運転教室業務委託)	734千円)

特定財源	防犯設備整備費補助金(都 1/2)	2,318千円
------	-------------------	---------



防犯カメラ



中学校自転車教室

一般会計			款 3	項 5	目 1	災害救助費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
2020年度	320	0	0	0	0	0	320
2019年度	180	0	0	0	0	0	180

1 災害救助費 320 千円

担当 防災課 予算書 109 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	320

○事業の内容

災害により被害を受けた町田市に住所を有する被災者又はその遺族に対して、見舞金または弔慰金を支給します。

○2020年度の取り組み

事業の内容に基づき、取り組みます。

事業費 罹災者見舞金 320千円

<見舞金支給状況>

	住宅全焼	住宅半焼	床上浸水	弔慰金
2016年度	3件	1件	0件	0件
2017年度	2件	3件	1件	1件
2018年度	5件	6件	0件	0件

関連事業 災害救助費(地域福祉部福祉総務課、262ページ参照)

一般会計			款 9 項 1 目 1 防災対策費							
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
2020年度	4,845,328	0	1,510,000	295,000	100	3,040,228				
2019年度	4,960,461	0	1,406,108	349,000	151	3,205,202				
2 消防団運営費						132,907 千円				
担当 防災課					予算書	139 ページ				
財源内訳		国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
		0	10,000	0	0	122,907				
<p>○事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命、身体及び財産を守ることを使命として活動している町田市消防団の活動を支えるため、報酬支払や費用弁償、及び被服貸与を行うことで消防団活動の充実を図ります。 ・町田市消防団出初式等の行事について事務局として携わり、消防団活動の充実を図ります。 <p>○2020年度の取り組み</p> <p>事業の内容に基づき、取り組みます。</p>										
主な事業費	団員報酬		65,147 千円							
	消耗品費		17,580 千円							
	損害補償・退職報償負担金		16,953 千円							
特定財源	市町村総合交付金(都)		10,000 千円							
<p><町田市消防団の概要(2019年12月1日現在)></p> <table border="1"> <tr> <td>組織</td> <td>5分団36個部</td> <td>団員数</td> <td>580</td> </tr> </table>							組織	5分団36個部	団員数	580
組織	5分団36個部	団員数	580							
						町田市消防団出初式				
3 消防施設費						197,128 千円				
担当 防災課					予算書	139 ページ				
財源内訳		国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
		0	0	142,000	0	55,128				
<p>○事業の内容</p> <p>町田市消防団の消防器具置場や消防車両を維持管理および整備とともに、消防水利(消火栓・防火水槽)を適正に維持管理することにより、消防活動の充実を図ります。</p> <p>○2020年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火貯水槽等の消防水利、消防団の消防器具置場や消防車両の維持管理および整備を行います。 ・消火栓の移設や新設、維持補修を行います。 ・消防ポンプ車両2台の更新を行います。 										
主な事業費	消火栓設置負担金		124,459 千円							
	車両購入費(消防車両)		38,800 千円							
	測量委託料(消防器具置場 5-4-1)		1,265 千円							
特定財源	消防施設整備事業債		142,000 千円							
						消防ポンプ車両				

4 災害対策費	289,918 千円
担当 防災課	予算書 139 ページ
財源内訳	
	国庫支出金 都支出金 市債 その他 一般財源
	0 0 153,000 100 136,818

○事業の内容

- ・防災行政無線や全国瞬時警報システム等の防災情報機器の運用・管理を行います。
- ・防災マップやハザードマップを増刷し、配布することで、災害時における避難経路や、市内における浸水被害の想定及び土砂災害の警戒区域について周知啓発を図ります。
- ・町田市地域防災計画等の見直しを行います。
- ・町田市総合防災訓練等の実施や、災害用備蓄品の更新を行います。
- ・避難施設別避難者推計事業の結果を受け、備蓄物資の再配備を行うため防災備蓄倉庫の新設を行います。
- ・地域防災活動をけん引できる人材育成を行うことにより、地域防災力向上に努めます。

○2020年度の取り組み

事業の内容に基づき、取り組みます。

主な事業費	整備工事費(防災行政無線再構築)	145,000 千円
	災害時用備蓄資材・食糧等購入費	51,735 千円
	機器等保守点検委託料	19,766 千円
	(防災行政無線設備等)	18,023千円)
	(防災資器材及びバルーン投光器	1,743千円)
	自主防災組織補助金	15,469 千円
特定財源	消防施設整備事業債	153,000 千円



5 常備消防費	4,225,375 千円
担当 防災課	予算書 139 ページ
財源内訳	

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
0	1,500,000	0	0	2,725,375

○事業の内容

東京消防庁に消防事務(常備消防)を委託します。広域化による効率化や装備・施設の充実等による消防力の強化を目指し、現在は、都内の25市3町1村が消防事務(常備消防)を東京消防庁に委託しています。

○2020年度の取り組み

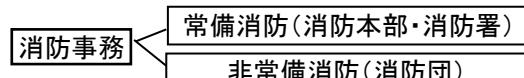
事業の内容に基づき、取り組みます。

事業費	常備消防都委託料	4,225,375 千円
特定財源	市町村総合交付金(都)	1,500,000 千円

<東京消防庁町田消防署の概要>

町田消防署は、本町田にある本署と、忠生・南・鶴川・西町田・成瀬の5つの消防出張所からなっています。

また、町田消防署管内には、ポンプ車11台(化学車1台含む)、救急車7台、はしご車1台、救助工作車1台、指揮隊車1台等が配備されています。



※消防事務のうち常備消防(消防水利を除く)を委託

